

起業家支援財団 事務局通信 NO.13



第32回学生起業塾（第4期生の最終回）で松井理事長の講話を聴く奨学生（平成24年3月1日）

発行日 平成24年5月15日（火）
発行 公益財団法人起業家支援財団
事務局 〒231-0003 横浜市中区北仲通3-33
TEL 045-263-9222 FAX 045-263-9220
www.shienzaidan.or.jp info@shienzaidan.or.jp
発行責任者 羽田 清 編集 治田 友香

ようやく新緑の候となりました。今回は、平成24年度第1四半期の報告をいたします。

本年2月、松井理事長が2011年度地域づくり総務大臣賞を受賞され、幸先明るいスタートとなりました。3月14日には財団の評議員会、理事会が開催され、平成23年度の事業報告、収支決算の審議と承認、理事の改選等が決議されました。

2年間にわたる内閣府からの受託事業であるiSB公共未来塾は3月末をもって終了しましたが、これを引き継ぐ形で「YSBスクール」の第1期も開講したところです。

財団としては、理事会でいただいたご意見を踏まえ、事業並びに体制の見直しにも着手しており、これまで以上に質の高い事業展開を行ってまいります。

引き続き、ご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願いいたします。

（専務理事 羽田 清）

●2011年度地域づくり総務大臣賞表彰

この表彰は、全国各地で、それぞれの地域をより良くしようと頑張る団体、個人を表彰することにより、地域づくりへの情熱や想いを高め、豊かで活力ある地域社会の構築を図ることを目的として、昭和58年度から実施されているものですが、2011年度の個人部門で、「エンジェル投資」「松井奨学金」「ふれあい自然塾」などに私財を投じて地域づくりに貢献してきたことが評価され、松井理事長が受賞しました。当財団の存在意義がより高まっていくものと期待しています。

（右は、2月4日、仙台にて行われた表彰式。中央が理事長）



●平成24年度第1回定時評議員会並びに第1回定時理事会の開催

3月14日（水）に平成24年度の第1回定時評議員会と定時理事会を開催しました。今回は、理事改選の年にあたり、改めて8名の理事が選任（うち7名再任）され、引き続き松井理事長が理事長に就任、また専務理事として新任理事である羽田が就任しました。

このほか、平成23年度の事業報告及び収支決算承認の件、奨学生選考委員会委員の選任の件、奨学金給付規程変更の件、定款変更の件、定款第59条株主権の行使に関わる件について慎重に審議され、承認可決されました。また報告事項として社会的企業育成支援事業コンソーシアムの成果報告、YSBスクール、関内イノベーションイニシアティブ株式会社の運営状況、第5期奨学生の選考結果等についての報告がなされました。

●第5期奨学生の選考結果

今年4月から1年間、財団の奨学生となる第5期生については、一般公募のほか、特別応募（大学内でのビジネスプランコンテスト入賞者からの採用）を加え予定通り30名の採用となりました。今回は、初めての大学を含め、従来と比べると一つの大学に集中することなく、かなり多岐にわたる大学からの応募、採用になりました。

●学生起業家支援事業（奨学金給付事業）・学生起業塾

第4期奨学生に対しては、3月1日（木）に最終となる第32回学生起業塾を行いました。この日は、最終回ということで松井理事長より「挑戦意欲とこれを支える精神力」「理論武装と経営者の感性を持った実践能力」「起業家としての器・仁徳」の3つを軸とした講話を頂き、多くの奨学生が感銘を受けると同時に身が引き締まったとの感想を述べていました。

●社会的企業育成支援事業コンソーシアム

1昨年4月から実施してきた内閣府からの受託事業、社会的企業育成支援コンソーシアム事業は、iSB公共未来塾で417名の修了生社会起業プランの採択者50名の成果を残して終了しましたが、3月21日、22日の二日間にわたり成果報告会の場を設け、起業プラン採択者によるその後の事業の進捗状況について発表いただくと同時に、お招きした審査委員の方々からもエールを送って頂きました。

●経営道場2011

経営道場2011は4月7日（土）に最終回を迎え、松井理事長より「経営者とは何かを考える」というテーマを踏まえ「成功する経営判断の根拠」と題して講話を頂きました。その後、受講生による「10年後の自社の姿」についての発表会と意見交換を行い、経営道場2011は全てのカリキュラムを終了しました。

●関内フューチャーセンターの運営～関内屋台村

関内フューチャーセンターでは、共済会館ビル前の駐車スペースをお借りして、3月12日より2カ月の予定で、ケータリングカーによるランチ用の屋台村を試験的に展開することにしました。日替わりで、毎日2台のケータリングカーが出店しています。賑わい感とともに関内フューチャーセンターの認知度向上につながればと期待しています。



事務局から

2年間にわたる内閣府受託事業終了とともに財団10周年に向けた新たな5年がスタートしました。第1回定時理事会において、松井理事長より、新たな5年に向けては、理事会の議論を踏まえ、より事業の内容を絞り込んで効率的かつ中味のある事業を展開していきたいとの意向表明がなされたところです。事務局としても、理事会の総意にそって事業内容の見直しを図りつつ、これまで以上に質の高い財団活動に注力していきたいと考えておりますので、引き続き、皆様のご支援とご協力をお願いします。